

# レジデンスホテル開発

SMFL「星のや」ブランド初  
子会社など



SMFLは中計で「観光立国の実現に資する投資戦略」を掲げる

三井住友ファイナンス&リース（SMFL）は15日、子会社のSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）が東急不動産、三菱地所レジデンスと共同で、レジデンスホテル「星のやヒュッテニセコ（仮称）」（北海道倶知安町）の新築工事に着手したと発表した。2029年2月の完成を目指す。星のや

ス、SMFLみらいパートナーズの3社が事業承継した。星野リゾートは引き続き開発に参画する。

SMFLは中期経営

計画で「観光立国の実現に資する投資戦略」を掲げる。主にSMFLみらいパートナーズが宿泊施設を保有、運用する。